



輝け!未来

# 澤田 征昌さん

さわだ・ゆきまさ

勝間田小6年 勝間田区

## 夢は発明家になること 生活を便利で豊かにする物を作りたい

僕の将来の夢は、発明家になることです。理由は多くの人の役に立つからです。「テレビ」のように家族みんなで楽しむ物を発明した人は、凄いなと思います。そのおかげで、僕たちは便利で快適な生活を送ることができているからです。僕も、これからさらに生活を便利で豊かにしていくような物を作っていきたいです。

ペンを置いてー編集後記

▼先日、市民から「子育て支援サークルから榛原児童館などへ寄贈された絵本がこの2月で300冊を超えた」との情報を受け、お話を伺いに出向きました▼サークルの代表者が月に1、2回、自家用車で知り合いのお宅を訪問して資源回収を行い、収益金で購入した図書や寄贈を5年間、毎月続けてきたとのこと▼「自分も本が大好きなので、たくさんの絵本を親子で一緒に楽しんでもらえたらうれしい」と話す代表者の素敵な笑顔に、心が温まりました。



▼職員研修報告会が2月22日に行われ、東日本大震災で被災した福島県相馬市の職員が講演▼震災時に求められる職員の意識や行動についての話で、「発災後2週間は全職員24時間体制で対応したこと」「その間の食事は塩むすびのみ」などと報告。私のみならず、聞いていた職員は衝撃を受けました▼あの時から2年が経過▼「家族を失った職員も自宅を失った職員も、市民のために全力で職務に当たっている」との話に、職員として覚悟を決めた私でした。

